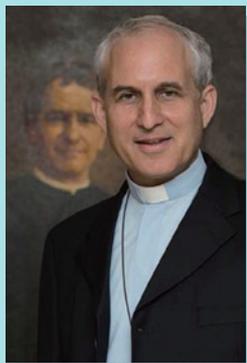
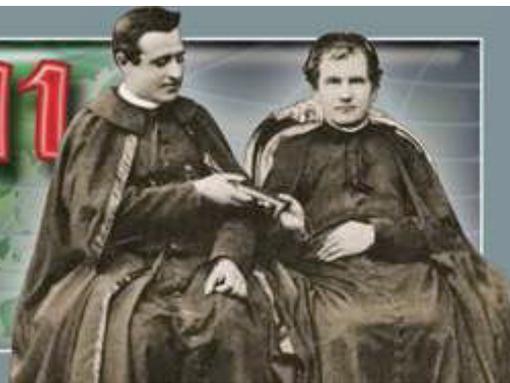


CAGLIERO¹¹

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.93 - 2016年9月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



第147回 宣教派遣!

家族として皆ともに声を合わせ、美しい宣教のマグニフィカトを歌いましょう:主はすばらしいわざを行われた!

毎年そうであるように、まず数字が

語ります。ドン・ボスコ自身がヴァルドッコから送り出した最初の派遣から数えて、147回目の宣教派遣となり、合計11,000人以上のサレジオ会員が送り出されることとなります。今年の派遣では、19人のサレジオ会員が出発します。最年長は44歳、最年少は23歳、平均年齢は29歳です。全員が神学生の14人の実地課程生、終生誓願立願者の2人の修道士、3人の司祭-うち1人は叙階されて間もない-、といった顔ぶれです。派遣・受け入れは大陸ごとに: アフリカが6人を派遣、4人を受け入れ; アメリカ大陸は3人を派遣、5人を受け入れ; アジアは8人を派遣、3人を受け入れ、ヨーロッパは2人を派遣、5人を受け入れ、オセアニアは2人を受け入れます。

おわかりになるように、あらゆる方向へと向かう「ミッション ad gentes すべての人へ」は続いています。どの管区も、送り出し受け入れる務めがあると感じなければなりません。召命において最も貧しい管区は、貧しい中から与えることに躊躇すべきではありません。豊かな召命のある管区は、宣教師を受け入れる土壌の準備を続け、普遍的兄弟愛の預言を管区の中に強めるようにしなければなりません。感謝!



恐れるな!

宣教師になろう!

「... 宣教師はつねに救いの知らせを皆に告げ知らせます。遠くに赴く宣教師だけでなく、わたしたちも救いのよい知らせを告げるキリストの宣教師です。それは、聖霊によってイエスがわたしたちにお与えになるたまものです。……

イエスの弟子はどんな精神をもって、この使命を果たすのでしょうか。彼らはまず、困難で、ときには敵意に満ちた現実が待ちうけていることに気づかなければなりません。イエスはこのことを単刀直入に語っておられます。『それは、狼の群れに小羊を送り込むようなものだ』(ルカ10章3節)。まったくその通りです。キリスト者の迫害が始まったときから、敵意はつねに存在しています。宣教が悪魔のわざによって妨害されることをイエスは知っておられるからです。したがって、福音の働き手は、イエスが命じたように財布も袋もはき物も持たず(4節参照)、人間が課したあらゆる制約から解放され、イエス・キリストの十字架の力のみを頼るよう努めます。それは、自分の利益や出世、権力を求めるのを止め、謙虚な気持ちで、イエスの犠牲によって行われる救いの道具になることを意味します。

……日々の生活の中で福音を喜んであかしするキリスト者が、大いに必要とされています。イエスによって遣わされた弟子たちは、『喜んで帰って来ました』(17節)。この箇所を読むと、教会の喜びがどれほどであったろうかと考えます。教会が大いに喜ぶのは、司祭——わたしたちがよく知っている小教区の勇気ある司祭たち——や修道女、奉獻生活者の女性、宣教師など、福音を日々告げ知らせしている多くの人々の献身のおかげで、教会の子らがよい知らせを受けるときです。わたしは自らに問うと同時に、皆さんにもお尋ねします。『この広場に集まっている若者の皆さんの内、何人がご自分に従うよう求める主の呼びかけを聞いているのでしょうか。』怖がらないでください。勇気をもって、これらの立派な弟子たちが示した使徒的情熱という導きの光を他の人々に伝えてください。

おとめマリアの取り次ぎによって主に祈りましょう。天の御父の愛と優しさをすべての人に伝えるのに必要な寛大な心を、教会が決して無くしませんように。」

教皇フランシスコ
お告げの祈り
2016年7月3日



第147回宣教派遣メンバー

	氏名	出身管区	派遣先管区・統治区
1.	Fidélius Marie ADJANOHOON 神父	AFO	ペルー PER
2.	José Maria CASTILLO VERGARA 修道士	FIN	ブラジルBMA
3.	Nicholas CHIBUEZE 神学生	AFW	台湾 CIN
4.	Paulraj CHINNAPPAN 神学生	INM	パラグアイ PAR
5.	Gabriel CRUZ 神父	MEM	パキスタン FIS
6.	José Wilker FRANÇA DA SILVA 神学生	BRE	ブルガリア CEP
7.	Cirilo Patricio DE DEUS 神学生	ITM	ベルギー BEN
8.	Julião DOS SANTOS 神学生	ITM	パプアニューギニア PGS
9.	Sławomir DRAPIEWSKI 神父	PLO	ブラジルBMA
10.	Emmanuel ILODIGWE 神学生	AFW	ハンガリー UNG
11.	Ilunga Martin Pacifique KALWIBA 神学生	AFC	チュニジア ISI
12.	Jean-Paul MUTOMBO 神学生	AFC	ブルガリア CEP
13.	Harinala Hugue Romel RANDRIAMALA- LATIANA 神学生	MDG	パラグアイ PAR
14.	Augusto RODRIGUES DE SOUZA 神学生	BMA	モザンビーク MOZ
15.	Vincent Vinh Hien TRAN 神学生	VIE	プロジェクト・ヨーロッパ
16.	Joseph Phuc Huu DANG 神学生	VIE	ナイジェリア AFW
17.	Paul Ky Quan Dai TRAN 神学生	VIE	ナイジェリア AFW
18.	Reto WANNER 修道士	GER	パプアニューギニア PGS

サレジオの宣教の聖性のおかし

サレジオ会列聖申請人 ピエル・ルイジ・カメローニ神父



中国とフィリピンの宣教師、神の僕カルロ・ブラガ神父（1889-1971）は、1964年に、ある婦人にあてて書いています：「神なる救い主のいつくしみ、善、寛大さを表す存在となるのに必要な聖性を、私は持たなければなりません：神が私の手にゆだねられた神に造られた人々のために、死に至るまで自分を犠牲としてささげるべきです！ 救い、あがない、建て、再建するために、自分たちの血と全面的な犠牲が必要であると私は理解しています。イエスのあがないと聖なる御血が実り豊かであるように、特別な助けをもってこの奉仕職のため、私を助けてくださるようお願いいたします！ 私一人では足りません、私は、はるか遠い絶海の一滴の水にすぎません。私は英雄的で寛大な魂の人々に支えられているのを感じなければなりません！」



サレジオ会の宣教の意向

第147回サレジオ会宣教派遣が、宣教の精神と召命への熱意を、サレジオ会全体にわたって促進させますように。

私たちの会の歴史において、「ad gentesすべての人へ」、「ad exteros自国を出て」、「ad vitam生涯をかける」宣教師の派遣は、ドン・ボスコのカリスマの福音宣教という本質的側面の具体的な表れでした。今年の宣教派遣が、使徒的熱意と福音宣教の喜びをサレジオ会員のうちに呼び起こし、新たなサレジオ会召命を生み出すものとなるよう、祈りましょう。

